山村資源を活用した癒しと健康の森づくり推進事業

# 健康歩きマップ あたか

安宅

eco health

鳥のさえずりや蛙などの声を聞き自然を満喫しながら、健康ウォーキングを楽しみましょう。安宅の滝周辺は自然の宝庫です。

## 季節を楽しむ 安宅彼岸花群生地

安宅の小鮒地区には稲田の畦や彼岸花の赤い色がじゅうたんのように広がる風景など、ちょっとした風景が話になります。彼岸花の開花期にはイベントを開催して、町内外の多くの皆さんで賑わいます。



## 「須佐神社」イボ神様

須佐神社の境内にイボ神様がある。その「イボ神様」は、石碑を前に、その前を白い紙に包んだ粉を塗りイボにすりつけ、そのこすった粉を人通りの多い道にまいて、粉を踏んだ人にイボがうつって自分のイボがなくなると言われている。

## 戸山原古墳

6世紀後半～7世紀前半に造られた墓。約13m、高さ約4.7mを測る横穴式石室を持つ円墳です。石室や墓主は当時の姿をとどめている貴重な古墳で、古代人の息吹を現代に伝えてくれます。平成16年5月13日、町指定文化財第一号（史跡）に指定されました。



## 安宅の滝

安宅の滝は「横岳の滝」とよばれていました。昔、修験者であった元慎地元が大変な命をかけて祈り続けた滝であって、名づけて主滝堂といっていました。現在の坂本氏の屋敷に横地氏の家があって、その屋敷跡から出る滝の姿は絵図のようです。一説では、この滝でまちがあって多心亭といい、後に地蔵の場所でした。

田代部落や田代の谷々から集った清流が高さ約9m、幅約2mの滝となって流下しています。岩間を数段にわかれて落ち流つぼになります。春は桜、秋は紅葉と四季それぞれの風情があります。

「滝壺有人八百貫、奇蹟安心八百貫」。十二医職官、不動明王等々と三十数体のさまざまな仏様が岩上に静かに安置されています。滝の音だけがこだまする静寂な木陰でこけむした仏たちは今の世界をなんと思い、私たちになにを語りかけているのでしょう。現在は新自然が改修された田川清国道第八十九番札所になっています。

## 田代の森

標高差の森林浴自道に選ばれた田代の森は、麓道から北側の山頂川代（標高差200m）までの間を総延長3kmの散策路、梅、竹、松林を縫うように登っています。滝壺、展望滝所のほか、野いちごやクラビなどの山菜もあります。